

## 2021 年度 第 17 回 国家資格キャリアコンサルタント試験

### (JCDA) 実技試験 (論述) 解答例 (中里)

※今まで「保育士」として働いてきたが、1 年前に「園長」として働くようになったというケースです。今までになかったケースと思われるかもしれませんが、企業で考えれば、「役職」に昇格したケースと同じですね。立場が変われば、職務内容や役割も変わってくる、ということに注目します。

得点配分の高い「問い 3」の「見立て」に注意します。6 つのテーマのうちいくつかは当てはまりますね。もれなく述べていきましょう。キーワードは、「のびのび働いて」「職員の手本になろうと」「主体的に」「空回りしている」「信用してほしい」などです。

**【問い 1】** 事例 I と II はキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例 I と II の違いを下記の 5 つの語句 (指定語句) を使用して解答欄に記述せよ (同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語句の下に必ずアンダーラインを引くこと)。(15 点) 6 行

#### 指定語句

背景 自己探索 好意的関心 説得 価値観
----------------------

事例 I では、「～は普通だ」「何くそという熱意があったから」などのように CCt の価値観で相談者を説得しようとし、また、「忙しいと聞いている」「まだ 2 年目」など好意的関心を示すものの、CCt の主観に基づく発言であるため相談者は納得できず、「そうですが…手ごたえが欲しい」と抵抗し問題解決につながっていない。一方事例 II では、「園長としての役割」という相談者の背景に注目し、「何やっているんだろう」という相談者の感情に焦点を当て自己探索を促すことで、園長の役割において何が大事なのかについて、相談者自ら「こだわり過ぎているのかな」と気づきが得られ、問題解決に向かう展開となっている。

**【問い 2】** 事例 I の CCt7 と事例 II の CCt10 のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しくないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記述せよ。(10 点) 2 行 x 2

事例 I CCt7 相応しくない

CL7 での「自分が空回りしているような気がする」という相談者の感情を受容、共感することなく、CCt の主観や価値観に基づき「～は普通だと思う」と相談者を説得しようとする断定的な応答である。

事例Ⅱ CCt10 相応しい

「何やってるんだろう、情けない」という相談者の気持ちに焦点を当て内省を促すことで、園長の役割において何が大事なのかについて、相談者自ら気づきを促す応答になっている。

**【問い3】** 全体の相談者の語りを通して、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問題と思われる点を、具体的な例をあげて解答欄に記述せよ。(15点) 5行

「保育士としての自身の経験を職員に伝えたい」「手本になろうと自ら提案してきた」など、職員の考えもきかず相談もせず自身の思い込みで園長として接しているため、職員からは「信用して欲しかった」といわれ、関係がうまく築けず悶々として焦っていること。また、保育士として働いてきた経験を一方的に職員に伝えたり、職員を信用することなく、困っている職員の対応を一方的に引き取るなど、園長としての役割や働き方について勝手な思い込みをしており、職務内容理解不足である。

**【問い4】** 事例Ⅱのやり取りの後、あなたならどのようなやり取りを面談で展開していくか、その理由も含めて具体的に解答欄に記述せよ。(10点) 6行

園の運営を担いながら、自分の考えやノウハウを伝えて質の高い保育を創りたいと努力している姿勢を支持し、労う。その上で、まずは職員会議などを通して職員とのコミュニケーションをとり、個々の職員たちの希望や考え方について耳を傾けることで相互理解を図ってみてはどうかと提案する。また、理事長に、「職員たちがのびのびと仕事をしていない感じ」について尋ね、自身の考えや園長の役割について相談してみよう促す。さらに、職員を信用するということに焦点を当て、「園長の役割」と、「職員を育てること」について考えることで、職員たちがのびのび働く園の園長としてやりがいを持ち働いていけるよう支援する。